

本サッカー協会、静岡新聞社・SBS静岡放送主催)最終日は二十二日、県営草薙球場で3位決定戦と決勝を行い、県高校選抜が見事優勝を飾った。ストック

ンFCと全日本ジュニアユースの顔合わせとなった3位決定戦は、地力に勝る全日本が藤田進のハットトリックなどで5点を奪い、一方勝ちした。続く決勝は、錦湖の猛攻に耐えた県高校選抜が後半33分、杉本 堀池のコンビで決勝ゴールをたたき出し、韓国高校NO.1の強豪を倒した。試合終了後、閉会式が行われ、県選抜の駒亀主将に大石益光県サッカー協会長から、SBSカップが贈られた。

杉本—堀池で決勝点

後半33分、得意の決め技

▽決勝
県高校選抜 1 0 0 0 錦湖
▽得点者 【県】堀池
▽アシスト 【県】杉本
▽交代 【県】大塚・清水東(鍋田) 青島・清水東(久保山)
【評】後半33分、錦湖陣営右サイド深く持ち込んだ相手が、しつ

よに粘りCKを誘い出した。右コーナーに丁寧にプレスした塚本が、慎重にセンタリング。ゴール左側で待ち受ける杉本が絶妙なタイミングでジャンプ。頭で中央に折り返す。これをオーバーラップしてきた堀池が豪快にヘッドでネットに突き去した。ヘディングの強さでは右に出るものがないといわれる188センチの身長DF杉本。その頭を生かしたセットプレ

ーからの得点は、県選抜の必殺パターン。十八番の決め技で決勝ゴールをもぎ取り、県選抜は韓国高校ナインパーワンを倒した。試合は予想通り、錦湖が押し気味に進めた。前半4分、黄永球のパスを受けた申連浩の強烈なシュートがゴールを襲う。10分、右CKから再び申連浩が鋭いヘディングシュートを見舞う。さらに16

分、金相鶴がポストに当たって外れる。あわや1点のシンの連続だが、県選抜は体を張って懸命に踏ん張る。GK柳亀やDF行徳らが好守をみせるたびに、大歓声がスタンドを包んだ。

県選抜は負けてはいない。特に後半は、県選抜ペース。連戦と暑さによる体力の消耗から動きの鈍くなってきた錦湖に対して、県選

県選抜、錦湖を破り優勝



県選抜—錦湖 後半31分、錦湖の猛攻を
県選抜・堀池②、行徳④が体を張って防ぐ

(静岡新聞 1982年8月23日朝刊)

【錦湖】4・2・4
GK 俊鎮 柳亀 龍崎 藤田 建浩 太
DF 河本 幸利 津田 國相 水大 連水
MF 宋金 李金 崔明 金 廣 徐申 金
FW 清水 枝水 海大 海大 岡学
(清瀬 藤清 東清 東清 浜静
島島 本見 堀池 堀池 本田 中山
藤川 杉津 行徳 相塚 堀野 久保
【県選抜】4・4・2
85 18 8
GK K K K H
DF S S S S